

10年の思い込めた 劇団ドリーム★キッズ記念公演

登米祝祭劇場を拠点に活動する子どもミュージカル「劇団ドリーム★キッズ」の第10回記念公演が、9月15、16日の2日間、同劇場で開催されました。10年間の成長と感謝の思いを込めた公演の様子を紹介します。(17、19ページ)

この第10回公演でドリーム★キッズを卒団する根来志保さん(中央)は、劇団結成時からのメンバーです。今回の「誕生祭～ノラネコ風太とわたしの物語～」では、主役の風太役を見事に演じ切りました

人と自然のつながり学ぶ

迫で長沼自然体験教室

長沼の自然を観察し、環境意識の向上や青少年の健全育成を図ることを目的とした「長沼自然体験教室(長沼漁協主催)」が9月8日、長沼で開催され、市内の小学生30人が参加しました。体験では、外来魚駆除用の捕獲器にどのような生物が入っているか確認したり、船で遊覧したりしながら長沼の生態系について学びました。長沼漁協の阿部正一組合長は「長沼の自然環境を守りながら、今後も地域の特性を生かした体験活動を子どもたちに提供していきたい」と話していました。



▲船上から長沼の生態系について学ぶ子どもたち

心を込めて平和を祈る

登米で戦没者慰霊祭

戦争によって亡くなられた方々を慰霊する「登米町戦没者慰霊祭(登米町遺族会主催)」が8月28日、殉国英霊之碑の置かれている登米神社境内で開催されました。当日は、遺族をはじめ各種団体の代表者、市関係者など約60人が参列。戦没者の冥福を祈り、全員で黙祷しました。式では、遺族会会長である大海俊一さんが式辞を述べ、登米総合支所の高橋秀広支所長が追悼の言葉を述べました。式の最後には、参列者一人一人が455の御霊の祭壇に菊の花を手向け、手を合わせました。



▲献花台に花を手向け、手を合わせる参列者

野球を通して思い出づくり

東京・東大和市で被災地交流

東和町の少年野球チーム、錦小ホエールズと米谷タイガースの合同チームが8月17日から19日までの3日間、東京の東大和市に招かれ、地元の子どもたちと交流しました。これは、東日本大震災による被災地の子どもたちとスポーツを通じて交流を図ろうと東京都と都体育協会が主催したものです。東和町の子どもたちは、17日に東京に到着し歓迎会の後、東大和市の選手の自宅にホームステイしました。翌日の交流試合では1対4で惜しくも敗れたものの、夏休みの楽しい思い出になりました。



▲交流事業に参加した登米市と東大和市の子どもたち